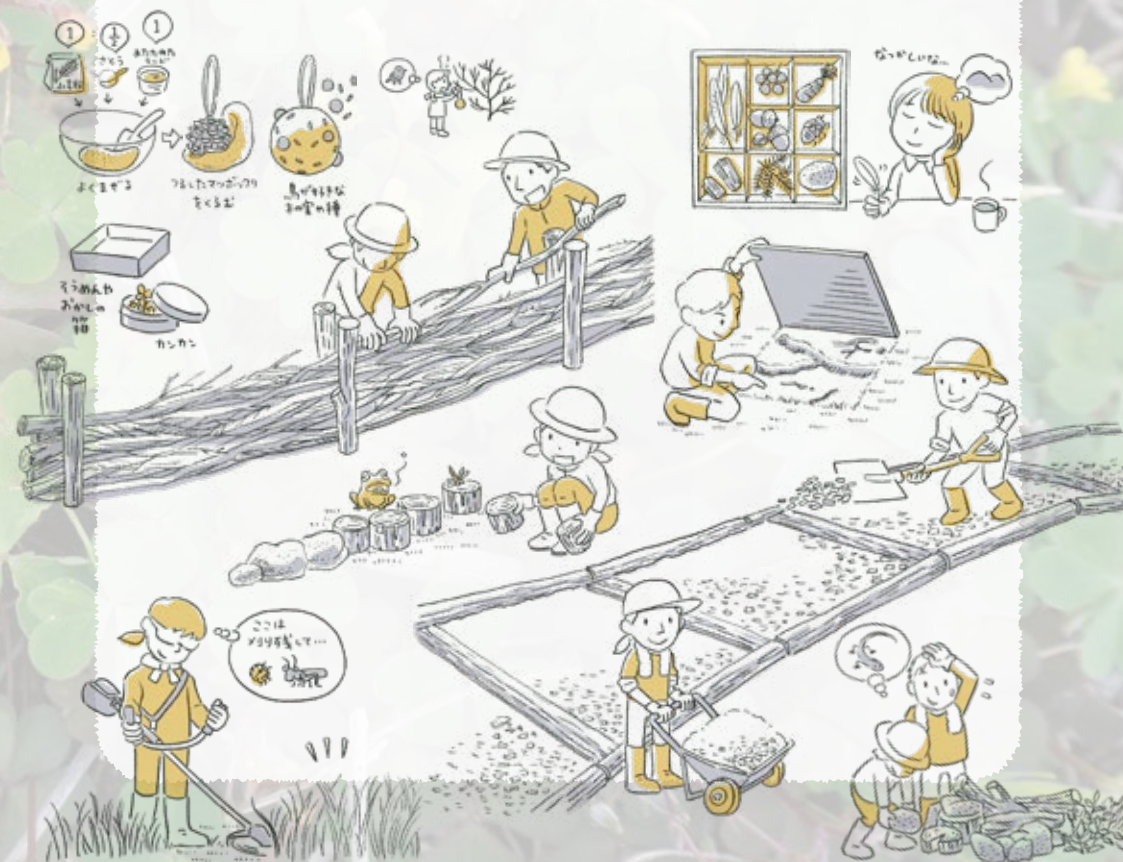


人と自然の 出会いの土場 づくり

汗を流し、森を知り、森を楽しむ

「森への恩返しのため、
たくさんのものを受け取っていました」

～森を育てる週末実習隊レポートより～



一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント

制作：公益財団法人キープ協会 環境教育事業部

デザイン・イラスト：ぐらいいん屋 律

※本冊子は、サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業

「地域資源を活用したサステナブルな未来創造事業」で作成しました。

人と自然の出会いの土場づくり



キャンプ場は、人が森に包まれていることを感じられる場所。

人工と自然の境界線はどこにあるでしょう？ 人が少しでも入り込めば、その場所には何か変化がうまれます。人が歩けば、「踏圧」で土が固くなりますし、何かを作れば風や水の流れから、光の当たり方までいろいろな変化がおきます。

コンクリートで埋め尽くせば、平らで歩きやすくなりますが、生き物にとってはすき間と変化の小さい空間になります。

生命を大切にしたい形での田んぼや里山は、人の暮らしと自然の力が適度な変化とバランスの循環を生んで、その環境にあわせた豊かな命のつながりがうまれます。

人と自然は、分断された対立的なものではありません。人は自然に大きな影響を与えるとともに、その自然のつながりの環の中で暮らしています。

人と自然が関わる場所で、生命のつながりと豊かさが損なわれたり、変化のとても遅い人工的なものがその場所を汚したりすることは、残念な状況とも言えます。

人と自然が関わる場所で、生命のつながりと豊かさが増したり、自然の循環の環の中にもどっていくならば、それはちょっとうれしいことではないでしょうか。



この冊子では、キャンプ場や森ととなりあった暮らしの中で、人と自然の会える場所が、ちょっといいバランスになるための具体的な工夫の例を5つ紹介しています。

「これをすれば、どんどん森を切りひらいてOK」とか、そういうことではもちろんありません。

「持続可能性」「環境保全」の視点、そして「再生」の視点での全体のゾーニングが大事です。また、こまかく見た時にも、「ここはちょっと快適性を優先しよう」「ここはもうちょっと、生命の豊かさを育むような配慮をしよう」とか、それぞれの場所にあった形で丁寧に育んでいきたいものです。

この冊子が、人と自然の交わる場所が、よりよい出会いの場となる一助となればと思います。

もくじ

2	人と自然の出会いの土場づくり
4	八ヶ岳観光圏エリアの土地や特性
6	散策路にウッドチップをまいてみよう
8	境界線を意識しよう
10	エコハウススペース <small>(里山型ハウスの出会いの場づくり)</small>
12	生き物たちの通り道を意識する <small>(簡易版アメンボスウェイ)</small>
14	森と暮らしの出会いの小窓
16	人と自然の会える場に興味を持たせよう
18	Field note

八ヶ岳観光圏エリアの地域特性

八ヶ岳・富士山・南アルプス・奥秩父の山々のすぐそばで、標高約400mから標高約1400mまで人々が住み、生活をしています。標高差があることによって約30分以内の移動で桜や蛍、紅葉などを2ヶ月近く楽しむことができます。また夏のひまわりを見た後、高原の涼しい風を感じることができるのも八ヶ岳観光圏の魅力です。豊かな自然環境と長い日照時間、夏季は冷涼、八ヶ岳や南アルプスの眺望、富士山が遠望される優れた景観を有しています。



八ヶ岳のキャンプ場の3つのタイプ

アカマツの二次林、ミズナラ等を中心とした天然林等のサイトが中心。「森のエビフライ」と呼ばれる、リスが松ぼっくりの種を食べた痕や、クルミを食べた痕、モグラ塚、足跡等、野生動物の息吹を感じるフィールドサインがよく見られます。

河川が近くにある
水遊びができる
キャンプ場

オープンサイトで
解放感を楽しめる
キャンプ場

森の雰囲気
ゆっくりと楽しめる
キャンプ場



このエリアの代表的な生き物

カモシカ・シカ
キツネ・タヌキ
アナグマ・テン
ヤマネ・ノウサギ



ヒメネズミ・モグラなど

フクロウ・アカゲラ
コゲラ・シジュウカラ
コガラ・ヒガラ・オオルリ
ヤマドリなど



アオダイショウ・ヤマカガシ
ジムグリ・アズマヒキガエル
ヤマアカガエル・アマガエル
トノサマガエル
ハコネサンショウウオなど



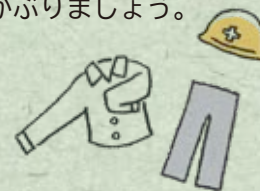
オオムラサキ・カブトムシ
ミヤマクワガタ・オニヤンマ
オオミズアオ・クスサン
ルリボシカミキリなど



森での作業、ここに気を付けて!

自分の身を守る服装は?

長袖、長ズボン、帽子（必要に応じてヘルメット）をかぶりましょう。陽射しや虫、かぶれる植物等から肌を守ってくれます。



一休み、一休み

作業は、つい気分がのってくるとどんどんやりたくなってきます。注意力が下がってくるとケガの元。水分補給と森を楽しむ心を忘れずに!

道具は大切

のこぎりやスコップ、木づちは大事な道具。正しい使い方と、森の中に忘れてしまわないように。



散策路にウッドチップを まいてみよう

ウッドチップは、
木のかけら。

◆ウッドチップをひくとよいこと

- ①木の根等を直接踏まないため、木へのダメージが低くなる。
- ②土が固くなりにくいから、土の下に暮らす生き物（モグラ等）も暮らしやすい。
- ③人にとっても、クッションになり 気持ちいい。

深さは
10~20cm
くらい!



森を育てる時に必要な間伐作業で出る木を
細かくすることで、活用しています。



境界線を意識しよう

人の過ごす場所と野生動物の暮らす場所はつながっています。
足を踏み入れてほしくない場所やその先の空間との違いを意識
できる「境目」を見える形にすることもひとつの工夫です。

◆カントリーヘッジ

一定間隔にうった杭の間を編みこむように
粗朶そだを組み合わせることで、ヘッジを作
ることができます。



小さな杭を並べたり、石や丸太を並べていくだけでも、
その先の空間との境を意識できます。

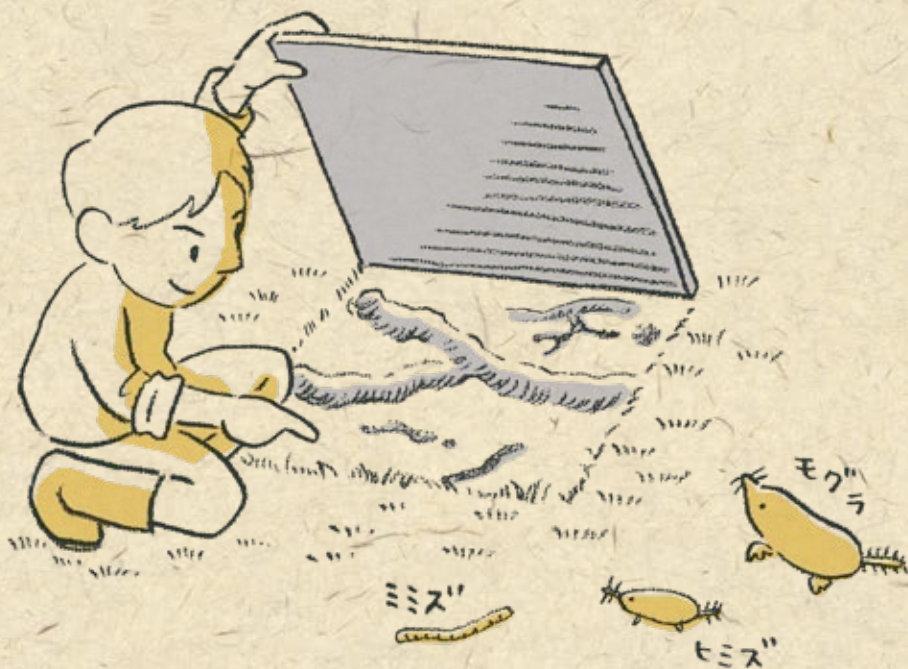
エ・カウ・ンター・スペース

(野生動物との出会いの場づくり)

生き物の暮らしは、すぐ側にあります。その暮らしを近くに感じる仕掛けがそこにあると、野生動物をもっと身近に感じられます。

◆大地のとびら

地面の上に板を一枚おいておくと、モグラがその下にトンネルを作ります。モグラにとっては、丸太が転がっているのと同じ。上から崩れてくることのないので、安心してその下にトンネルを掘るのです。



◆野ネズミの家

森のネズミは、体長10cmほどの小さなネズミ。アカネズミやヒメネズミなどがあります。石の下、岩のわれめ、木の根もと、たおれた木の下、やぶの中…
小さなすき間が大好き。
森の枯れ枝や倒木を集めて積んでおくと、ちょうどよい隠れ場になります。



◆ごろごろハウス

古い丸太や石ころをつんでおくとすき間がうまれます。トカゲが日向ぼっこしたり。倒木を転がしておくのもいいですね。

生き物たちの通り道を意識する (簡易版アニマルパスウェイ)

人間にとっては何でもない幅の道路や段差も、生き物の目で見ると大きな川や崖のようなものです。

木の上で暮らすリスやヤマネにとって、枝は大事な通り道。草刈りの時も、全部刈り取ってしまわずに、バッタたちが隠れられるスペースを残してみる。



側溝もカエルのための脱出路があると、助かります。

暮らす場所がつながると、そこを行き来することができます。おいしい食べもののある場所や、仲間のいるところにも通っていくことができます。



※北杜市には、木の上に暮らす生き物のための道「アニマルパスウェイ」が公道にかかっています。
「アニマルパスウェイと野生生物の会」



と暮らしの 出会いの小窓

日々の暮らしの中に、森という場所と時間を思い出す小さな入り口を作りましょう。

◆バードケーキ作り

食糧が少なくなる冬限定で、野鳥たちの越冬を応援。

小麦粉・砂糖・油で簡単に作れます。

種や実をまぜることも。



◆森の小箱

森でみつけた小さなひとかけらを、そっと小箱にしまいましょう。リスの食べた松ぼっくりのかじりあと、小さな木の実、不思議な形の小枝、自分にしっくりくる小石、セミのぬげがら・・・。箱の中には、森の時間のかけらがつまっています。



※採取が禁止されている場所もありますので、注意してください。

人と自然の出会いの場に^{もっと!}興味を持たら

ようこそ森の入口へ

山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

八ヶ岳エリアの自然や文化について、楽しく遊びながら学べる展示や、最新の自然情報、旬の自然の楽しみ方などを紹介しています。



● 9:00 ~ 17:00 開館

7-9月 9:00 ~ 18:00
11-2月 9:00 ~ 16:00



● 火曜日休館

(大型連休及び夏休み期間・年末年始は休館日なし)

● 入館無料

里山体験盛りだくさん

北杜市オオムラサキセンター

オオムラサキセンターの棲む里山を未来に伝えていくために、昆虫に関わる展示や里山の散策路を通して、紹介しています。



● 9:00 ~ 17:00 開館

7-8月 8:30 ~ 19:00
12-3月 9:00 ~ 16:00



※最終入館は閉館 30 分前

● 月曜日休館

● 大人 420 円 / 小中学生 200 円
未就学児無料

世界でたったひとつのヤマネの博物館

清泉寮やまねミュージアム

ヤマネとヤマネの暮らす森・その森を守る取組…研究を通してわかったことを、遊んで体験できる展示で紹介しています。



● 10:00 ~ 16:00 開館



● 土日祝祭日・夏休み・年末年始開館
(平日は団体専用日 ※要事前予約)

● 小学生以上 420 円 / 未就学児無料

日本で唯一の動物画専門の美術館

藪内正幸美術館

絵本や図鑑の挿絵など、動物への愛情、尊敬の念が伝わる動物画家・藪内正幸の原画から、生き物の世界へと誘われます。



● 10:00 ~ 17:00 開館



● 水曜日休館

(12月~3月中旬冬季休館あり)

● 高校生以上 500 円 / 小学生以上 200 円
未就学児無料

Field note

